

形成外科(選択)

研修科	形成外科(選択)	
責任者	教授	磯貝 典孝
指導医数	5	名
研修期間	4 週間	～ 8 週間
受入可能人数	3	名
到達目標	外科基本手技を習得し形成外科診療の概要を学ぶ。	
行動目標	<p>1. 外科基本手技の習得</p> <p>1) 創傷管理の習得 的確に創の状態を把握し、適切な消毒およびドレッシング方法を習得する。</p> <p>2) 縫合技術の習得 創の状態に適した縫合法(真皮・表皮縫合)を習得する。</p> <p>3) 植皮術・皮弁術の習得 基本的な分層植皮術、全層植皮術を習得する。また皮弁による創閉鎖方法を学習する。</p> <p>2. 新鮮外傷の扱い</p> <p>1) 外傷の初期治療について学習する。</p> <p>2) 顔面外傷の診断方法・手術適応・手術方法について学習する。</p> <p>3) 切断指の初期対応および分類・手術適応・手術方法について学習し、手術に参加する。</p> <p>3. 形成外科診療の概要を学ぶ</p> <p>1) 形成外科で扱う先天奇形、腫瘍などの診断・治療の概要を学習する。</p> <p>2) 外傷および悪性腫瘍切除後の再建手術の概略を学習する。</p> <p>3) マイクロサージェリーを含めた組織移植手術の理論と概要を学習する。</p>	

<p>方略 (LS)</p>	<p>1. 指導医の補助医として外来診療を行い、幅広い症例を経験しながら基本的な診察法、診断法などを習得する。</p> <p>2. 手術患者に対しては、研修医自らが主治医グループの一員となり、手術方法の検討会、手術説明、手術に積極的に参加する。</p> <p>3. 救急患者に対しては、指導医の下で、研修医自ら診療にあたり、診断・治療を行う。また、切断指などの緊急手術には、積極的に参加する。</p>
<p>評価 (EV)</p>	<p>研修医が到達目標を達成しているかどうかは、各分野・診療科のローテーション終了時に、医師及び医師以外の医療職が別添の研修医評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを用いて評価し、評価票は研修管理委員会で保管する。医師以外の医療職には、看護師を含むことが望ましい。</p> <p>上記評価の結果を踏まえて、少なくとも年2回、プログラム責任者・研修管理委員会委員が、研修医に対して形成的評価(フィードバック)を行う。</p> <p>2年間の研修終了時に、研修管理委員会において、研修医評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを勘案して作成される「臨床研修の目標の達成度判定票」を用いて、到達目標の達成状況について評価する。</p> <p>研修医評価票</p> <p>Ⅰ. 「A. 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)」に関する評価</p> <p>A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与</p> <p>A-2. 利他的な態度</p> <p>A-3. 人間性の尊重</p> <p>A-4. 自らを高める姿勢</p> <p>Ⅱ. 「B. 資質・能力」に関する評価</p> <p>B-1. 医学・医療における倫理性</p> <p>B-2. 医学知識と問題対応能力</p> <p>B-3. 診療技能と患者ケア</p> <p>B-4. コミュニケーション能力</p> <p>B-5. チーム医療の実践</p> <p>B-6. 医療の質と安全の管理</p> <p>B-7. 社会における医療の実践</p> <p>B-8. 科学的探究</p> <p>B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢</p> <p>Ⅲ. 「C. 基本的診療業務」に関する評価</p> <p>C-1. 一般外来診療</p> <p>C-2. 病棟診療</p> <p>C-3. 初期救急対応</p> <p>C-4. 地域医療</p>
<p>責任者からの一言</p>	<p>一期間で形成外科一般を十分に網羅することは困難であるが、診療に参加することを通じて、形成外科に対する認識を深めてもらい、形成外科における基礎知識、基本手技の習得に努めてもらいたい。</p>